

花の魅力を伝えたい

はまだ たつや
濱田 達也さん(40歳)

「高知の花応援店」に登録されている金子生花店で働きながら、ユリの魅力を伝える「リリーアンバサダー」として活動しています。

4月には牧野植物園でユリやソリダスター、オオデマリなど3,000本の高知の花を使った「リリーロード」の動画作成に協力しました。その他、子どもを対象に花束作り体験をしています。まずは花に触れてほしい、高知にはいろんな花があることや季節感を感じてほしい。花を飾ることが定着するようにイベントを仕掛けていきたいですね。

※「リリーロード」の動画はJA高知県のYouTubeチャンネルで公開中です

お家で花を楽しんで

まつさき なおとし
松崎 直敏さん(71歳)

花苗を作り始めて30年になります。

種から育てて花がついたら外に出します。日光に当てると花や葉の色が濃くなるんですよ。作業台を高くするなど体に負担が少ないよう工夫しています。今では2人の息子も手伝ってくれるようになりました。

写真で手に持っている花「カリブラコア」がおすすめ。強く一度植えると毎年咲きます。寄せ植えや花壇で楽しんで欲しいですね。

高知地区より

直販部より

高知
地区

から こんにちは
今月の気になる人

とさのさとより

高知の花、プレゼントにいかが？

ふじさき のりこ
藤崎 典子さん

JAファーマーズマーケット「とさのさと」で生花を担当しています。

今年はコロナ禍で影響を受けている県内の花生産者を応援しようと、母の日に引き続き父の日にもキャンペーンをしました。

これをきっかけにイベントや毎日の生活の中で、高知の花を買って飾ってほしいですね。

お好きな切り花を選んでもらったら有料でラッピングもできますよ！ぜひプレゼントにいかがですか。

JA共済ライフアドバイザーを紹介します！

お互いに助け合うことを基本理念とし、「ひと、いえ、くるま」と暮らしの保障のすべてがそろったJA共済。一人ひとりに合った保障を提案するLA（ライフアドバイザー）が地域で活躍しています。

左から、山本剛、北村慶子、金子幸子、前田あすか、西森遵倫、北村紗津です。令和2年度はこのメンバーで頑張ります！

春野地区より

5 高知地区

若手酪農家が消費呼びかけ



県内産の牛乳を受け取る浜田知事（中央）（高知市、高知県庁）

高知県内の若手酪農家とJAでつくる高知県酪農連合協議会青年部は6月の「牛乳月間」に合わせて県庁で県産牛乳や乳製品の消費拡大を呼びかけました。

佐川町で酪農を営む部長の田村直一さんは「がんばって搾ったのでぜひ飲んでください」と県内産の牛乳を手渡し、浜田省司知事は「おいしい」と飲み干しました。

新型コロナウイルスの影響で、県内でキャンセルされた給食用の牛乳は一部は加工用として出荷されたほか、農林水産省の呼びかけにより消費の機運が高まり、県内で廃棄された牛乳や生乳はありませんでした。

3 高知地区

環境もコストもパッと見える化！？
～IoTプロジェクトの推進～

機器をインターネットにつなげるための調査をする普及員

高知県が取り組みを進めるIoTプロジェクトでは、生産現場の様々なデータをクラウドに自動収集し、生産者やJA、研究機関が活用できるシステムの構築を目指しています。

その一環として、6月に普及所と春野営農経済センターが、キュウリ生産者を対象に機器設置のための意向調査を行った結果、取り組みに前向きな生産者の声が聞かれました。

今後現地実証を重ね、将来的に全ての生産者が利用できるサービスになるよう、取り組みを広げていきます。

6 高知地区

満足度で高評価～JA自動車共済～



高吾サービスセンターの岡崎昇さん㊦と岡本実さん㊦

JA高知県は、JA共済連が行う事故処理対応利用者満足度調査（令和元年度実績）で、全国225の大規模JA中23位という評価を受けました。これは全国のJAを対象に、自動車事故に遭われた契約者に対する事故処理後のアンケート調査結果に基づいて審査が行われています。

春野地区を担当する高吾サービスセンターでは、2人体制で契約者からの事故受付および示談交渉などの対応にあたっています。春野担当の岡崎昇さんは「今後も常にお客様の気持ちに寄り添い、事故処理で迅速、丁寧な対応を心掛けたい」と話しました。

4 高知地区

父の日に高知の花を贈ろう



高知の花で飾られた撮影スポットで記念撮影する家族連れ（高知市）

高知県とJAグループ高知でつくる高知県園芸品販売拡大協議会は、県内消費者の花の購入促進を図ることを目的に、6月21日の父の日に向けて「父の日に高知の花を贈ろうキャンペーン」を行いました。

キャンペーンは19日から始まり、指定店で父の日の花ギフトを購入した人に高知の花をモチーフにした特製のオリジナルメッセージカードをプレゼント。また、20・21日には高知駅の「こうち旅広場」に高知の花を飾り写真撮影スポットを作ったほか生花店による花束作り体験が開かれました。

Monthly Topics

できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！



1 春野営農経済センター

第2出荷場の「カイゼン」始まる

春野営農経済センターでは新シヨウガ出荷の作業効率向上を目的に第2出荷場内の「カイゼン」に着手しました。

「カイゼン」は無駄を省くことで効率化を進め、だれでも同じように作業ができるようマニュアル化を徹底する生産方式でトヨタ自動車が行っています。

7月1日トヨタ社OBで作る「カイゼンマイスター」が訪れ、事前に解析した動画をもとに現場職員と課題を洗い出しました。同センターでは、2019年

にもキュウリ選果場で「カイゼン」をおこない、作業時間の無駄の解消を中心に取り組み、作業員一人あたりの処理量が5%以上向上するなど効果を上げています。

販売課の吉本光寛課長は「専門家の指摘には説得力があり、作業や時間の無駄を減らす意識が広がった。作業マニュアルの整理などできることから取り組みたい。次の課題も見えてきたので検証し効率化をめざしたい」と意気込んでいます。



春野町のハウスでキュウリを収穫する親子

2 高知地区

24人がキュウリの収穫体験／親子あぐりスクール

食農教育の一環で、小学生とその保護者を対象に開く「親子あぐりスクール」を高知地区では初めて6月27日に開校しました。収穫や稲刈りなど全5回の農業体験を行う予定。

新型コロナウイルスの影響で予定より2か月遅れの開校となりましたが高知市のとさのさとアグリコレットで開校式を行い、親子24人が参加しました。

式後は、春野町のキュウリ農家、中村富貴さんのハウスで収穫体験を行い、袋いっぱい

収穫した親子はとれたての新鮮なキュウリの丸かじりを楽しみました。

収穫後は西日本でも最大級の規模を持つ春野営農経済センターのキュウリ選果施設を見学したほか、直販所では野菜やAコープマーク商品を探し携帯電話で撮影するゲームをしました。

高知市から参加した田中隆裕さん親子は「キュウリの花を初めてみた。つるが長く伸びているのもびっくりした」と目を輝かせました。

環境制御システムを 自作してみませんか？

環境制御に興味があるのに、環境測定から始めて少しずつハウス内制御を始めていきたいとか、ハウス環境の見える化がいまいち分からないと、導入にふみきれていない生産者の方も多いのではないのでしょうか。そこで、低コストで始めることのできるユビキタス環境制御システム（以下、「UECS」という）について紹介します。

UECSは、中小規模の施設でも導入しやすいのが特徴で、日本の農業に適した環境制御システムです。UECS導入のメリットは、大きく分けて以下の3つがあります。

- ①システムが無料で公開されているため、環境測定器・制御器を低コストで自作、購入できる
- ②自作することで、様々なセンサーの取付けや修理が自分でできるようになる
- ③環境データの解析や制御ができる便利なUECS用アプリを無料で利用できる

導入事例

(1) 機器の作成

実際に環境測定器と制御器を作って、キュウリハウスに導入してみました。今回、自作した環境測定器は温度、湿度、日射量、簡易的な土壌水分が測定できるようにしました。必要な部品はネット通販とホームセンターで買い揃え、環境測定器と制御器合わせて8万円程度でしたが、モニターとして別途パソコンが必要となります。本事例では部品を全て買い揃え自作していますが、キットでの販売や代理で作成してくれるメーカーもあります。

※注1) 価格は使用する部品等によって異なります。

注2) 加温機等と接続する場合には、専門的な知識が必要となりますのでご注意ください。

(2) 導入効果

自作した環境測定器と制御器をキュウリハウスへ導入したところ、温度でのみ制御していた加温機と天窓を、湿度でも制御できるようになりました。このハウスでは夜間の湿度が高くなりやすく、病害が多発していましたが温湿度コントロールができるようになり、他のハウスと比べ病害の発生は少なくなりました。さらに、タイマーでかん水していたのが、日射比例式の自動かん水が可能になり、省力化と収量の増加につながりました。

まとめ

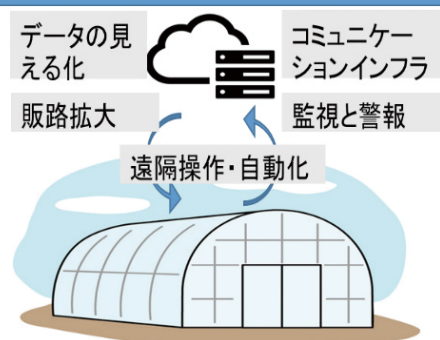
UECSを利用することで、環境制御機器を低コストで導入することができ、さらにクラウド（有料）を活用することで自宅や外出先からの遠隔操作も可能となります。まずは、環境測定器を導入してハウスの見える化から始めてみませんか。ご興味のある方は高知農業改良普及所（TEL：088-861-0711）までご相談ください。

もっと楽に、もっと儲かる農業を目指して、IoTクラウドを構築します

IoTとはInternet of Plantsの略で、植物のインターネットのことです。天候の環境情報に加えて植物の生育情報や収量、収穫時期や農作業などの情報を計測し、植物の情報の「見える化」を図ります。

IoTクラウド構築のために、まずはハウスをネットにつなぐところから始めていき、できたところから生産者や指導員に使ってもらいながら便利で使いやすいクラウドに仕上げていきます。IoTクラウドを利用することで、いつでもどこからでもハウスの状態を確認したり、ハウス内の機器を自動化したりできるようになります。

今年度は、個々の生産者の様々なデータを自動収集し、品目に応じたデータの分析・診断結果をフィードバックできるようなシステムを構築していきます。



あなたもチャレンジ！ 家庭菜園

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

カブ 適期に間引きを行う

園芸研究家 ● 成松次郎

生育適温は15〜20度と冷涼な気候に適し、暑さと乾燥に弱い。寒さには強いという特徴があります。春まき（3〜4月）と秋まき（9〜10月）が一般的な栽培時期です。

「品種」大きさ、形、色（白、赤）がさまざまですが、小カブ品種では、豊円形で耐病性・耐暑性のある「CRもちばな」（タキイ種苗）、低温期に向く扁（へん）円球で白さび病にも強い「雪牡丹」（武蔵野種苗園）、中大カブ取りもできる「スワン」（タキイ種苗）などがあります。紅カブや上半身が赤く細長い日野菜など地方品種もおすすめです。

「畑の準備」種まき1〜2週間前に1平方m当たり苦土石灰100gをよく混ぜておきます。次に、化成肥料（NPK各成分で10%）150gと堆肥2kgを全面に

図1 畑の準備

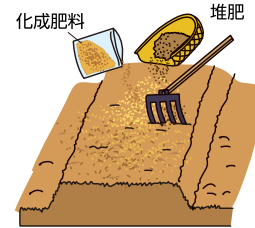


図2 種まき

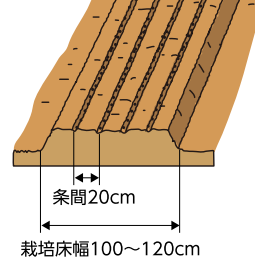
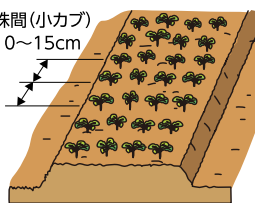


図3 間引き



散布し、よく耕しておきます（図1）。「種まき」幅100〜120cmの栽培床を作り、深さ1cm程度のまき溝を20cm間隔で4条作りまします。溝に1〜2cm間隔で種をまき、薄く土を掛けまします（図2）。「間引き」発芽し、子葉がそろった時点で、まき過ぎて密になっている部分を間引きまします。その後も、込み合ってきたら、生育の悪い株を間引きまします。最終的な株間は小カブで10〜15cm、中大カブで20cm程度にします（図3）。

「追肥・土寄せ」間引き後は株元へ土寄せして、株のぐらつきを防ぎまします。中大カブでは、最後の間引き後に1平方m当たり化成肥料30gを株元に与え、土寄せまします。「病害虫防除」アブラムシには、マラソン乳剤など、アオムシ、コナガにはゼンターリ顆粒（かりゅう）水和剤（BT剤）などで防除まします。なお、栽培床に寒冷しやをトンネル状に掛けたり、不織布のべた掛けをすれば、害虫の侵入を防ぎ、風雨から幼苗が守られます。「収穫」小カブは直径が5cm程度、中大カブは10〜15cmが適期で、早く育った株から収穫まします。遅くまで置いておくと肥大が進み、す入りや裂根することがあります。

お天気カレンダー

暑さは暦通り？

気象予報士（株式会社ハレックス） ● 檜山靖洋

夏真っ盛りのイメージがある8月ですが、8月の二十四節気は、7日が「立秋」で、暦の上では秋が始まります。23日は「処暑」で、暑さが収まる頃という意味になります。8月上旬に立秋となりますが、本当に秋が始まるのでしょうか。

気温の平年値を見ると、多くの所で8月上旬が一年の中で最も暑くなります。立秋のあたりが夏の暑さのピークになるのです。ただ、裏を返せば、立秋を境に気温が下がり始めるということになります。8月中旬以降の気温は右肩下がりになります。「立秋」とは秋が立つ日で、まさに秋が始まる日といえそうです。

23日の処暑の頃になると、東京では最高気温が35度以上の猛暑日となる日も少なくなり、仙台ではコオロギが鳴き始める頃です。暦通り暑さが収まり、次第に秋らしさを感じることが多くなってきます。



皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

こうグラム！では命の大切さを教えてもらいました。良い文章だと思いました。

(高知市横浜新町 51歳)

▼大切に育てられた「土佐あかうし」ピロ色の体毛に丸い瞳が愛くるしい牛です。命をいただくことに感謝ですね。「こうグラム！」は広報担当者の思いが込められています。

食育ならぬ花育。良い活動ですね。心の中にもきれいな花を咲かせよう。

(高知市神田 71歳)

▼安芸地区の花育活動は今年で10年目。花とふれ合った児童の中から未来の担い手が生まれるといいですね。

コロナの影響がいろんな分野に出ている。自分のできる支援をしていきたいと思う。

(高知市薊野 54歳)

▼コロナ禍は農業にも影響は大きくJAは消費拡大を呼びかけています。食べて、飲んで、飾って、応援よろしく願います。

こうぐりを楽しみにしています。特にパズルはいつも挑戦しています。

(春野町平和 75歳)

▼ご愛読ありがとうございます。意外と骨のあるパズルです。新しい言葉を知ったり頭の体操になりますよね！

スイカのサラダ！新しい感覚の料理を教えてくださいました。

(春野町秋山 71歳)

▼スイカにチキンやナッツが合うなんて目からうろこが落ちました。産地ならではのアイデアですね。

新規就農者の国繁里奈さん。あき豆に対する笑顔がすてきです。就農1年目がんばってほしいです。

(高知市大谷公園町 78歳)

▼家族の時間を大切にするために農業を選んだ国繁さん。たくさん実ったあき豆を収穫する喜びが伝わってくる笑顔ですね。

香美地区の女性部さんの手作りマスクすばらしいと思います。すこしずつ活動の場ができてうれしく思います。

(春野町弘岡下 77歳)

▼コロナ禍で自粛していた女性部活動も徐々にではありますが、各地で始まりました。こうぐりでは女性部の活動も積極的に掲載していきます。

花のある暮らし、毎月とても楽しみです。生け花のポイントもマネしています。とてもきれいで元気になりますね。

(高知市朝倉 36歳)

▼ご愛読ありがとうございます。ポイントを押さえるとすっきりしたり、ボリュームアップしたりとお花のアレンジメントが楽しめますね。

写真が鮮明で「ナス」は実物を見ているようです。春野農協の時代に監事を務めていたことを懐かしく思います。

(春野町弘岡下 97歳)

▼体の熱を逃がしてくれるナスは、暑い夏こそ食べたい野菜ですね。ご自身も農業をいとなまれ、長い間JAにご協力いただきありがとうございます。

【連絡先一覧表】

春野支所

総務課	894-3033
信用課	894-2203
共済課	894-3304
金融渉外課	894-3309
高吾サービスセンター (事故処理)	892-3605
営農経済センター 販売課	894-2222
営農渉外課	894-5660
購買課	828-6111
ビニール加工場	894-4264
農機センター	894-5290

営農経済センター

店舗課	828-6116
JAグリーンはるの店	828-6161
配送部門	828-6113
重油係	828-6115
Aコープはるの	894-2225
養鰯出荷・加工場	894-5424
はるちゃんのアイス屋	894-2760
JA子会社 (株)JAエナジーこうち 春野給油所	828-6212
ルミエールはるの	(フリーダイヤル24時間) 0800-200-5911

INFORMATION

お知らせ

きゅうり部会よりお願い 空きハウスを探しています 空きハウス活用しませんか

新規就農者独立への取り組み

きゅうり部会では栽培面積の減少を防ぎ産地を維持することを目的に、平成24年より指導農業士の元で新規就農希望者の研修を1年間行い、終了後は独立・就農していただく取り組みを行っています。

研修終了後の新規就農者は中古ハウスを借りてきゅうり栽培をスタートします。つきましては使用していないハウスがある方、その様な情報をお持ちの方は営農渉外課(☎894-5660)へご連絡をお願いします。新規就農者へハウスを貸していただきますようお願いいたします。

研修終了後新規就農者数・栽培面積

平成26年 1名・20㌥	平成27年 3名・60㌥	平成28年 2名・30㌥
平成29年 1名・29㌥	平成30年 1名・15㌥	令和1年度 1名・10㌥